催し物

古文書講座①

とき　4月29日(土)
　　午前9時30分から
ところ　就業改善センター

月寿教室①

とき　4月21日(金)
　　午前10時から
ところ　月寿荘
内　容・開講式
　　・講演会
　　演題「昔話より学ぶこと」
　　講師　加茂市更科アイ先生

※いつものようにバスを運行しますのでご利用下さい。

村民サイクリング

村民サイクリングを次のとおり行います。

日　時　平成7年5月21日(日)
　　午前8時30分に就業改善センター前に集合（西地区は8時15分に西公民館）
対　象　村民の方（小学2年生以下は保護者同伴）
参加費　1人400円
目的地　後日連絡します。
参加申し込み
　平成7年5月10日(水)までに公民館に参加申し込み書を提出して下さい。

県民カレッジ紹介

今月から「いきいき県民カレッジ」の講座の中から月潟村から比較的受講しやすいものを選び紹介します。

※「いきいき県民カレッジ」には、どなたでも入学することができます。

入学を希望される方、詳しい情報を知りたい方は公民館へ御照会下さい。講座一覧、入学案内等をさせて頂きます。

中国語講座

内　容　中国語を学びながら中国の社会や文化を理解し初歩的な日常会話ができるようになることを目指す。
時　期　4月～3月
　　毎週火曜日
　　19時30分～21時
会　場　中之口村農村環境改善センター
その他　受講料月1,000円

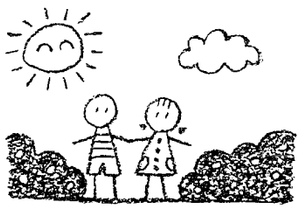
古文書入門講座（前期）

内　容　江戸時代の基本的な古文書の読み方、取り扱い方について、初歩的な知識と技術を学びます。
時　期　6月～7月
　　毎週水曜日　5回
　　13時30分～15時30分
会　場　燕市総合文化センター

成人大学講座（越佐の人物風土記）

内　容　越佐の人物に焦点を当て、その人の功績や国土などから郷土の歴史、文化、民俗について考えます。
時　期　5月19日～9月8日
　　毎週金曜日　16回
　　午前10時～正午
会　場　新潟市鳥屋野地区公民館
その他　資料代2,500円

参加されてみてはいかがでしょう！



ニイガタ見聞楽お知らせ

今月から近隣の文化催事の案内をさせて頂きます。

4/21(金)　「HISTORIA」打楽器アンサンブルコンサート　18：30～　新潟市音楽文化会館

4/22(土)　「箏と日本の楽器」演奏会　13：30～　新潟市民プラザ

4/29(土)　「第11回おかあさん音楽会」コーラスフェスティバル　10：10～　県民会館大ホール

5/7(日)　「県郡詩吟大会」　9：30～　県民会館小ホール

5/14(日)　「第13回大正琴新潟友の会演奏会」　10：00～　県民会館大ホール

「第8回大正琴フェスティバル」　13：00～　新潟市音楽文化会館

4/16(日)～6/4(日)　公開実験「マグデブルクの半球」大気圧と力くらべ　11：20～11：35　14：00～14：15　県立自然科学館エントランスホール

皆さんの作品をお寄せ下さい

今年度から「公民館だより」のページの中に「文芸欄」を設けます。

村民の方々から作品を募集して掲載させていただきたいと考えています。

短歌、詩、小説、エッセイショートショート等ジャンルは問いませんので多数の作品の応募をお待ちしています。

応募の注意

・応募される方は、公民館で指定する原稿用紙を使用して下さい。
・応募される作品に使用される文字は正確に楷書で書いて下さい。
・応募した作品の著作権は月潟村公民館に属することになります。

第21回 村内柔道大会

第21回村内柔道大会が2月21日、3月7日、14日に分けて、各学年総当りで行われました。選手は一年間の練習で磨いた技を次々とかけあっていました。結果は次のとおりです。

3・4年生の部
優　勝　鏡　孝俊
準優勝　間島　諭
3　位　鏡　亮平
敢闘賞　児玉　慎二
敢闘賞　大橋　鉄平

5年生の部
優　勝　鏡　淳平
準優勝　登石　善仁
3　位　樋浦　義久
4　位　島田　雅
5　位　北　幸寛
敢闘賞　高木　裕幸

6年生の部
優　勝　野内　喜徳
準優勝　山田　豊
3　位　白倉　猛
敢闘賞　大介
鏡

『スポーツリーダー研修会』 ケガに気をつけて！

3月19日(日)、就業改善センター教養娯楽室を会場に月潟村社会体育指導委員協議会主催による「スポーツリーダー研修会」を開催しました。

講師に燕労災病院整形外科部長島垣斉先生をお迎えして骨折、脱臼等に対する処置を実習を交えながら講義していただきました。

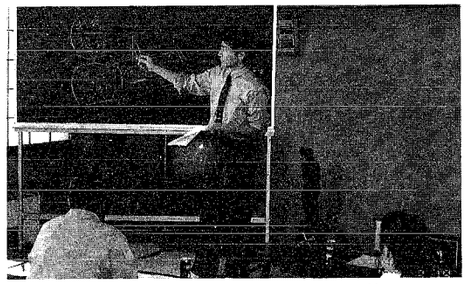
◎講義の中から

(1)靭帯損傷、捻挫に対する応急処置の原則　RICE
安静（Rest）　疼痛部の局所安静
冷却（Icing）　アイスパックで冷却
圧迫（Compression）　弾力包帯で圧迫し、出血予防と固定
挙上（Elecntion）　内出血、浮腫を軽減

(2)突き指、骨折、靭帯損傷、筋の切断を起こしていることがあるので、日数が経過しても痛みが引かない場合は専門の医療機関で検査を受けること。

(3)女性の場合、30歳を過ぎたら膝に負担がかかり傷みやすくなるので、正座をすることをなるべく避けた方がよい。

事故が起こらないことが一番大切です。無理をしないこと、準備運動、器具等の点検を確実にして、いい汗を流しましょう。



▲燕労災病院　島垣先生による講義

サークル紹介

月潟陶芸クラブ

会長　登石　直さん

本焼が終りいよいよ窯の蓋を開けるとき、中の陶器が色良く満足の出来る作品に出来上って居ります様にと心の中で祈り、思わず手を合せて窯の蓋に手を掛け、開ける時の気持は陶芸をやる人でなければ味わえない気分だと思います。窯の中から出来上った陶器を一つ一つ出す時、陶器が思った色に仕上り、

「やったー」

「あっ、変な色に仕上った」と言う人、出し終り並べられた陶器を一つ一つ会員が観賞し合っている時、苦心の末出来上った器を手にする時、会員の心は雲一つ無い日本晴れです。

一口に陶器といいますが、形の無い粘土をコネ、土に親しみ、土と遊ぶ気持で成形に入ります。成形法も

「ロクロ成形」
「手びねり成形」
「タタラ作り」

等があり出来上った物をゆっくり自然乾燥で二週間くらい乾燥させます。出来上った器は窯に入れ（800度）の温度で6時間素焼をし吸水性と強度を高め、窯から出し細がけ（色付け）をいたし再度窯に入れ（1250度）で8時間本焼に入ります。この様に陶器が出来るには日数と時間がかかり、それだけに出来上った器が良くも悪くも愛着があるのではないでしょうか。

陶芸クラブにこのたび、村当局の御理解を頂き、旧教員住宅の一棟を提供して下され、内部改装及び大型窯を設置して頂く事になり、今後大型陶器も楽に焼成出来る事になり、クラブ員一同喜んで居ります。

将来、月潟焼か角兵衛焼とし、村当局又村民の方から観賞して頂ける様、夢はでっかくもって居ります。

皆様の中で自分も陶芸をやって見たいと思って居られる方、生き甲斐のため、または、自分の作った茶碗でお茶でも飲んでみたいと思っておられる方、すぐお電話を下さい。

会員数　13名
　　男5名・女8名
会長　登石　直
副会長　田村　ヨシ
会計　小林　孝子
事務局　金子　善次郎